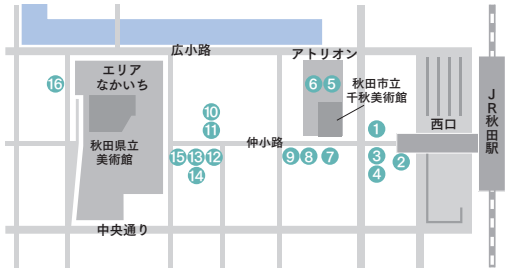
仲小路商店街

お得な半券サービス

秋田県立美術館と千秋美術館をつなぐ仲小路商店街。どちらかの美術館で展覧会を鑑賞し、半券（両館のパスポートも可）を対象店舗で提示すると、各種サービスを受けられます。「アートな街」をお得にお楽しみください。



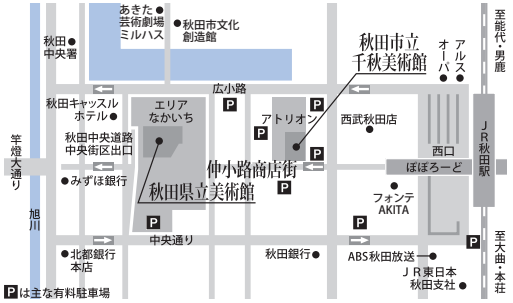
	店舗名	サービス内容
①	一乃穂 本店	ご購入のお客様にご試食品進呈
②	プリモカワカミ（フォンテAKITA1階）	フォンテポイント2倍
③	Koo Aromática Salon & School（クロッセ秋田4階）	全コース5%割引
④	café La Doux（クロッセ秋田2階）	食後のワンドリンクサービス
⑤	秋田県産品プラザ	5%割引（一部対象外）
⑥	札幌かに本家 秋田店	飲食代金5%割引（現金払いのお客様）
⑦	Branzi-no Akita	お食事の方にデザートサービス
⑧	そば処 四季	飲食代5%割引
⑨	レモンの部屋	5%割引（一部対象外）
⑩	ティールーム陶	100円引き（平日ランチは除く）
⑪	食器のさかいだ	5%割引（一部商品除く）
⑫	仲小路コーヒー&ワイン（仲小路ビル1階）	1,000円以上の飲食で5%割引
⑬	親鶏らぁ麺 いし川（仲小路ビル1階）	ラーメンのみ5%割引
⑭	VIVANT MAKE UP WORKS（仲小路ビル2階）	メイクレッスン受講の方にスクリューブラシプレゼント
⑮	川口呉服	5%割引（サービス品除く）
⑯	ダイニングレストラン ザ・キャッスル（秋田キャッスルホテル 1階）	ご利用金額の10%割引 またはワンドリンクサービス

秋田市立千秋美術館

開館時間●午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
観　覧　料●常設展一般310円　大学生210円
　　高校生以下無料
休　館　日●9月8日（日）、11月11日（月）～22日（金）
〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8（アトリオン内）
TEL.018-836-7860 FAX.018-836-7862

秋田県立美術館

開館時間●午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
観　覧　料●展覧会ごとに異なる
休　館　日●7月1日（月）～5日（金）、
　　9月30日（月）～10月4日（金）
〒010-0001 秋田市中通一丁目4-2（エリアなかいち内）
TEL.018-853-8686 FAX.018-836-0877



編集●秋田市artlineプロジェクト実行委員会
　　秋田市立千秋美術館
　　秋田県立美術館指定管理者（公財）平野政吉美術財団
　　仲小路振興会

発行●2024年7月
表紙：Photo: Anton Sucksdorff

特集

イッタラ展

秋田市立千秋美術館リニューアルオープン記念
Stars of Finnish Glass
フィンランドガラスのきらめき

2024.7

平野政吉コレクション 絵画のなかの「街」

［会　　期］ 2024年7月6日㊏ ― 9月29日㊐ 会期中無休

［会　　場］ 秋田県立美術館 3Fギャラリー

［観 覧 料］ 一般310円（250円）、シニア280円（250円）、学生210円（170円）
※（ ）内は20名以上の団体料金、シニアは70歳以上
※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者手帳（ミライロID可）を持参の方と付添1名は無料
※秋田市立千秋美術館の観覧券（半券可）をご提示の方は団体料金

［主　　催］ 秋田県立美術館（指定管理者 公益財団法人平野政吉美術財団）

各地の名所、身近な風景を描くときの題材として選ばれる街。その中には、人々の生活の様子を描いた作品もあり、当時の暮らしぶりやその場所の雰囲気を感じることが出来ます。

本展では、平野政吉コレクションの中から「街」が描かれた作品を展観し、画家たちがとらえた生活の舞台としての街に注目。在りし日の景色と人々の暮らしにまなざしを向けます。

ルイジ・ダ・リオス
《水を汲む少女（ベニス）》水彩・紙
公益財団法人平野政吉美術財団蔵

深堀隆介展 水面のゆらぎの中へ

［会　　期］ 2024年8月4日㊐
― 9月29日㊐ 会期中無休

［会　　場］ 秋田県立美術館 1F県民ギャラリー

［観 覧 料］ 土日祝：一般1,100円（900円）、小中高600円（400円）
平日：一般1,000円（900円）、小中高500円（400円）
未就学児無料
※（　）内は前売、20名以上の団体および障がい者割引料金（ミライロID可・付添1名まで）（秋田県立美術館で当日券購入の場合のみ）

［主　　催］ 深堀隆介展秋田開催実行委員会（秋田県、ABS秋田放送、公益財団法人平野政吉美術財団）

深堀隆介
《金魚酒命名鈴夏》

金魚の持つ神秘に魅了され、透明樹脂にアクリル絵具で金魚を描く驚異の超絶技巧で、注目を集める深堀隆介。一連の金魚作品は国内のみならず今や世界的に高い評価を受け、近年ではライブペインティングやインスタレーションにも力を入れ、ますます表現の幅を広げています。2018年には、公立美術館（平塚市美術館他）で初の個展を開催し累計入場者約10万人を数えました。以降も全国各地で展覧会を開催し人気は衰えるところを知りません。本展では初期の立体作品から最新作インスタレーションを含む代表作を展示。本物と見紛うほどの立体的な躍動感と不思議な美しさを湛えた、深堀隆介の世界を紹介します。

秋田魁新報創刊150年記念特別展

ロートレックと ベル・エポックの巴里－1900年

［会　　期］ 2024年10月5日㊏ ― 12月15日㊐ 会期中無休

［会　　場］ 秋田県立美術館 3Fギャラリー

［観 覧 料］ 一般1,000（800）円、高・大学生800（600）円　中学生以下無料
※（　）内は前売、20名以上の団体料金
※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳（ミライロID可）を持参の方と付添1名は半額（秋田県立美術館で当日券購入の場合のみ）
※秋田市立千秋美術館の観覧券（半券可）をご提示の方は団体料金

［主　　催］ ロートレック秋田展実行委員会（秋田魁新報社、秋田県、公益財団法人平野政吉美術財団）

19世紀末から20世紀初頭にかけ、パリは世界有数の大都市として大きく発展しました。「ベル・エポック（美しき時代、良き時代）」と呼ばれたこの時代、産業の近代化や経済の発展を背景にパリの人々は平和で豊かな生活を謳歌したのです。1900年にはパリ万国博覧会が開催され、美術界においても象徴主義、アール・ヌーヴォー、フォーヴィスムなどの新たな美術運動が起こり、この世紀転換期に幅広く展開されました。また、劇場での歌曲や舞踏などの流行により、ポスターや風俗画等が数多く制作されました。

本展では、大胆な表現力でポスターを芸術の域まで高め、後世に大きな影響を与えた画家・トゥールーズ＝ロートレックを中心に、ミュシャやドガ、デュフィら同時期の画家たちの作品を展観。ベル・エポック時代を象徴する女性のファッション、人々の生活、劇場や盛り場など華やかな時代の姿を映し出したパリの芸術を紹介します。

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
《ディヴァン・ジャポネ》1893年 石版画

アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
《エグランティーヌ嬢一座》1896年 石版画

秋田市立千秋美術館リニューアルオープン記念

イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき

［会　　期］2024年6月29日㈯ — 8月25日㈰ 会期中無休

［観 覧 料］一般1,200円（1,000円） 大学生800円（640円） 高校生以下無料
※（ ）内は20名以上の団体、前売、障がい者割引および秋田県立美術館との相互割引料金

［主　　催］秋田市立千秋美術館　フィンランド・デザイン・ミュージアム　朝日新聞社　AAB秋田朝日放送

［特別協力］Iittala

ロナン&エルワン・ブルレック《ルーツ》シリーズ、2015年　©Ronan and Erwan Bouroullec

フィンランドを代表するライフスタイルブランド、イッタラ。ヘルシンキの北約120㎞にあるガラス工場から出発した同ブランドは、アルヴァ・アアルトやカイ・フランクら、デザイン史をけん引した建築家やデザイナーとともに歩んできました。美しさと機能性をすべての人へ提供するという思想のもと送り出されたプロダクトは、今なお世界中で愛され続けています。

本展は、イッタラ創立140年を記念しフィンランド・デザイン・ミュージアムが開催した展覧会を再構成し、日本との関係に焦点を当てた章を加えたものです。ガラスを中心に、陶磁器、映像等をあわせた約450点を通して、イッタラの技術と哲学、デザインの美学に迫ります。

アアルト ベースの制作風景
©Fiskars Group

展覧会の見どころ

❶イッタラの140年におよぶ軌跡を450点以上の作品を通じて紹介

世代を超えて世界中の人々を魅了するタイムレスなイッタラのデザイン。本展は、ひとつのブランドとしての存在にとどまらず、近代社会の発展をも反映しつつフィンランドデザインの象徴となったイッタラの歩みにアプローチします。

❷日本初、イッタラの大規模巡回展！

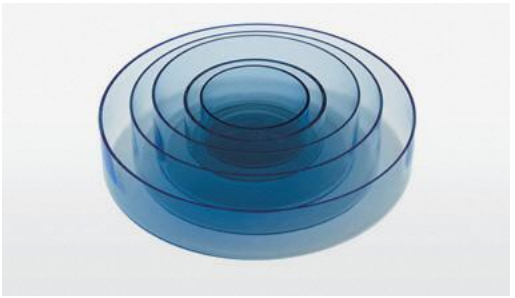
フィンランドデザインを代表するブランドとして度々紹介されるイッタラですが、全国の美術館を巡る大規模な展覧会は初めての開催となります。約12,000点に及ぶ世界最大級のイッタラコレクションを誇るフィンランド・デザイン・ミュージアムと、イッタラのアーカイブから貴重な作品を選りすぐって展示します。秋田は本巡回展の最終会場です。お見逃しなく。

❸デザイナーを通して見るイッタラと日本のつながり

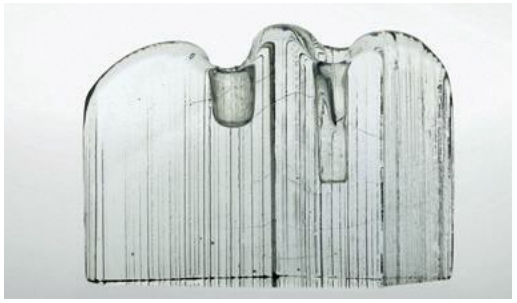
イッタラを代表するデザイナーのカイ・フランクは日本文化に影響を受けたことでも知られ、イッタラと日本は浅からぬ関係性を築いています。21世紀に入り、いっそうグローバルなデザインの広がりが求められるなか、イッタラは国際的なデザインブランドとして複数の日本人デザイナーや建築家とのコラボレーションを実現しています。ミナ ペルホネンの皆川明氏や隈研吾氏の撮り下ろしのインタビュー映像で、イッタラと世界的な日本人デザイナーらの仕事に迫ります。

アルヴァ・アアルト《アアルト ベース》1936-1937年
©Design Museum Finland, Photo: Johnny Korkman

オイバ・トイッカ《バード バイ トイッカ》シリーズ
©Fiskars Group



ティモ・サルパネヴァ《マルセル》1993年
©Design Museum Finland, Photo: Johnny Korkman



タピオ・ヴィルカラ《パーダリンヤー（パーダル湖の氷）》1960年
©Design Museum Finland, Photo: Johnny Korkman

秋田市立千秋美術館リニューアルオープン記念

生誕120周年
サルバドール・ダリ－天才の秘密－

［会　　期］2024年9月14日㈯ — 11月10日㈰ 会期中無休

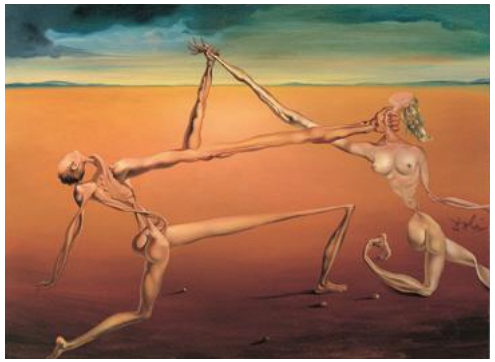
［観 覧 料］一般1,200円(1,000円)　大学生800円(640円)　高校生以下無料
※( )内は20名以上の団体、前売、障がい者割引および秋田県立美術館との相互割引料金

［主　　催］秋田市立千秋美術館　ABS秋田放送

［特別協力］公益財団法人諸橋近代美術館

サルバドール・ダリ(1904-89)の生誕120周年、シュルレアリスム宣言100年の記念すべき節目に開催する本展は、世界屈指のダリ・コレクションを形成する(公財)諸橋近代美術館(福島県)の所蔵品を中心にダリの生涯を外観し、ダリの渡米以降の活動にも注目します。

ダリが私たち観衆に魅せた「シュルレアリスト・ダリ」とその背景にある「人間・ダリ」の複雑で繊細な内面を探り、世界中で愛されているサルバドール・ダリがいかなる芸術家であったのか、油彩、素描、版画、彫刻のほか、ミロやマグリットなどシュルレアリスムの作家の作品等により明らかにします。



《ダンス：セブン・ライブリー・アーツより》1957年頃
公益財団法人諸橋近代美術館蔵

《ビキニの3つのスフィンクス》1947年
公益財団法人諸橋近代美術館蔵
© Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí,
JASPAR Tokyo, 2024　B0765

パスポートで
アートを満喫!

PASSPORT
秋田市立千秋美術館
AKITA SENSHU MUSEUM OF ART

千秋美術館年間パスポート

一年を通じて、千秋美術館で開催される展覧会を楽しむなら、お得な年間パスポートをご利用ください。

価格●一般 3,000円　大学生 1,500円
販売開始日●6月29日(土)
有効期限●発行日より1年間
販売場所●千秋美術館1階受付

千秋美術館オリジナル ミュージアムグッズ

千秋美術館では、リニューアルオープンを機にミュージアムショップで販売するオリジナルグッズを(株)ビームスのユニフォームブランド、Uniform Circus BEAMSにて製作しました。美術館の新しいロゴや所蔵作品をデザインに取り入れたTシャツやトートバッグ、キーホルダーなど、全6アイテムを展開。ここでしか手に入らないグッズを来館の記念にぜひお求めください。

Tシャツ

館名のロゴタイプを胸に配したシンプルでコーディネートもしやすいTシャツ。裾に付けたシンボルマークのタグがポイント。

トートバッグ

真っ白な生地に千秋美術館のロゴが印象的なトートバッグ。チャームなどを取り付けられるループ付き。

学芸員リレーコラム

仲小路でアートを探そう(第20回)

仲小路は通勤経路の一つであり、くまなく目を向けていたつもりであったが、改めて見回すと新たな発見があった。例えば、ビルのフェンスの柄が駅側とアトリオン側とでは異なって見えること、植え込みの側面に与次郎きつねの伝説等が示されていること。おそらく、今までも見てはいたのであろうが、観察していなかったのだろう。作品を鑑賞する際も、観察して初めて気がつくことがある。そしてそこから描かれているもの、作者、作品の用途などに興味がわいたり想像が膨らんだりする。

展覧会では、作品1点を隅々まで観察して頂きたい。どんな色をどこに使っているのか、タッチや質感はどうか。きっと思いもよらぬ発見に出会えるだろう。近年は美術の見方、観察の仕方をわかりやすく解説した書籍も出版されている。是非参考にしてほしい。(千秋美術館・関)